

市立高教組ニュース

第 2 号 R2 (2020) 年 9 月 28 日 (月) 発行

発行 仙台市立高等学校教職員組合
〒980-0803 仙台市青葉区国分町3-10-10
仙台市国分町分庁舎 Tel. (022) 262-2289
書記長 鶴 順二

教育長へ要求書を提出

仙台市立高教組では、8月7日に各職場の声をまとめた改善を求める要求書を教育長に提出してきました。当初交渉時間は75分の予定でしたが、当局の都合で60分に短縮されました。その影響もあり、今回の教育長交渉では、以下の八つの項目に絞って当局への説明を行いました。(裏面に重点要求書を掲載しています)

- ① 再任用職員も含めた教職員の給与に関する事。
- ② タイムカード、在校記録簿に関する事。
- ③ 新型コロナ感染予防のための消毒・トイレ清掃に関する事。
- ④ 人事異動に関する事
- ⑤ 奨学金受付業務に関する事
- ⑥ ギガスクール構想に関する事
- ⑦ コロナ関連の対応に関する事
- ⑧ 会計年度任用職員制度に関する事



- ① では、再任用職員の賃金については、これまで継続して交渉してきた結果、県とほぼ同等の額となったものの、再任用以外の教職員については県の教職員との開きが大きいことを指摘しつつ、人事委員会への要請を求めました。
- ② では、多忙化解消のために試行的に導入したタイムカードであるはずなのに、在校時間記録簿との併用が続いており、多忙化解消の一助になっていない実態の改善を求めました。
- ③ では、生徒への新型コロナ感染予防のために教職員が毎日行ってきた教室等の消毒・トイレ清掃は本来、教職員の業務ではなく、また教職員の感染予防の観点からもプロ業者への外部委託を求めました。
- ④ では、人事異動の新しい方針が示されましたが、とくに仙台市独自採用の教職員についてはしっかりと方針の周知をはかり、これまで通りの「希望と承諾の原則」をしっかりと守るよう求めました。
- ⑤ では、年を追う毎に奨学金のニーズが高まっており、申請者は増加する一方で各校の担当教員が行っている受付業務は、本来の業務に影響が出るほどに大きな負担となっています。このことを踏まえ、その解決策を講ずるよう求めました。
- ⑥ では、小中学校の進捗状況に比べ、一向に進展が見られないギガスクール構想について、その内容と進捗状況を尋ねました。結果として、ほとんど進んでいない実態が明らかになりました。今後、この事業を進める場合は現場の意見が十分に反映されるよう求めました。
- ⑦ では、3月来、コロナ関連の対応について市立高校と県立高校との相違が際立っていたことから、少なくとも同じ仙台市内の高校については今後足並みを揃えるよう求めました。
- ⑧ では、今年度からはじまった会計年度任用職員制度の適用を受ける非常勤講師について、通年雇用を求めるとともに、採点・評価業務等の関連業務に関しては、昨年度組合との交渉を経て取り決めた制度通りの運用を徹底するよう求めました。

今回の要求に対する回答交渉は年度末の3月に実施される予定です。今回の教育長交渉以外にも当局とは11月に「人事問題懇談会」を開催しています。昨年度の「人事問題懇談会」では、以下のようなことが話題に上がりました。

○人事評価制度について→新たな提案をしていきたいという市教委からの方針が示されました。その後、令和4年1月の定期昇給から能力評価の結果を反映する。
令和3年6月期の勤勉手当の成績率決定は業績評価の結果を反映する。
という具体案が示され、令和2年1月17日に仙教組(仙台市立小中学校の教職員組合)と合同で交渉し、内容について確認しました。

○タイムカード等勤務時間に絡む諸問題について

○エアコンの導入時期について→市教委は来年夏に間に合わせたいと答弁。(この夏、実現しました。)

今後も各職場の声を集約し、さまざまな問題に対する改善を当局に要求していきますので、ご意見をお寄せ下さい。